

令和7年度事業の状況

1、事業の状況

(1) 妻籠宿保存のための調査・研究・指導・援助に関する事業

- ① 保存地区内における現状変更行為申請書の受付事務及び毎月定例的に統制委員会を開き、次に示す現状変更申請事項の審議を行った。

4月21日・審議事項

中屋根塗装	1件	
コンクリート歩道	1件	
現場事務所等設置	1件	
引込線新設工事	1件	
引込線撤去・新設工事	1件	
物置倉庫設置	1件	
道路築造工事（変更）	1件	
外壁塗装	1件	
雨樋修繕	1件	
堰板交換・雨樋修繕	1件	
砂利敷き	1件	
電柱及び電線の撤去・新設等	1件	
水車樋新規加工製作及び設置	1件	
石積復旧	1件	計 14 件

5月20日・審議事項

ボーリング調査及び水位、歪観測	1件	
仮設備設置（変更）	1件	
家屋解体	1件	
群状択伐	5件	
引込線新設工事	1件	
陸棟積み直し工事	1件	計 10 件

6月20日・審議事項

仮設事務所・道具小屋設置	1件	
店舗外観修繕	1件	
和智埜神社末社屋根修繕	1件	
群状択伐	4件	計 7 件

7月22日・審議事項

道路法面立木伐採及び枝払い	1件
物置小屋除却	1件

防護管撤去	1 件	
変圧器揚替、引込線撤去・新設	1 件	
史跡中山道旧路面発掘調査	1 件	
令和 7 年度予防治山事業第 3 号工事	1 件	
配電線設備の保安伐採	1 件	
群状択伐	6 件	
河川等流量計測機器の設置	1 件	
高圧線張替等	1 件	計 15 件

8 月 20 日・審議事項

令和 7 年度県単治山事業第 3 号工事	1 件	
雨戸戸袋修繕	1 件	
簡易水道配水管、給水管布設工事ほか	2 件	
倒木除去、高圧線張替ほか	1 件	計 5 件

9 月 22 日・審議事項

電線防護管撤去	1 件	
配電線設備の保安伐採	1 件	
土間打ち	1 件	
倒木除去、高圧線張替（期間延長）	1 件	
群状択伐	2 件	
電線の移設工事	1 件	
電柱及び電線の撤去・新設ほか	1 件	
既存看板の盤面修繕	1 件	計 9 件

10 月 20 日・審議事項

鉄塔の一部補修	2 件	
地下水変動観測用の観測井設置	1 件	
四阿の屋根塗装	1 件	
舗装修繕工事	1 件	
支障木の枝払い及び伐採	1 件	
群状択伐	4 件	
道路改良工事	1 件	計 11 件

11 月 20 日・審議事項

木堀修繕	1 件	
表面波探査	1 件	
群状択伐	2 件	
引込線新設	2 件	
電線張替、防護管撤去及び伐採	1 件	
アスファルト舗装工事	2 件	
支障木伐採	1 件	計 10 件

12 月 22 日・審議事項

群状択伐	1 件	
雨樋修繕工事	1 件	
棟瓦の積み直し	1 件	
電話柱の新設及び光屋外線の新設	1 件	
配電線設備の保安伐採（期間延長）	1 件	
引込線撤去工事	1 件	
支障木伐採	1 件	
導水路背面空洞調査	1 件	
電柱及び電線の撤去・新設ほか	1 件	
引込線張替	1 件	計 10 件

1 月 20 日・審議事項

板庇修繕	1 件	
雨樋修繕	1 件	
引込線張替及び防護管撤去	1 件	
引込線新設	3 件	計 6 件

2 月 20 日・審議事項

仮設備設置（変更）	1 件	
滝下・滝上トイレ応急対策	1 件	
看板の取替	1 件	
伐採作業	2 件	
令和 7 年度県単治山事業		
第 3 号工事（変更）	1 件	
電線新設張替工事及び伐採作業	1 件	
電力線の修繕	1 件	
砂利敷き（追加）	1 件	計 9 件

3 月 23 日・審議事項

柿の木伐採	1 件	
水舟の除却	1 件	
水舟の更新	1 件	
令和 8 年度重伝建補助事業	2 件	
標識の設置	1 件	
引込線新設	1 件	
群状択伐	4 件	
筍伐採	1 件	
道標杭新設	1 件	計 13 件

合計 119 件

② 防災施設の点検の実施

宿場内にある消火栓の点検作業について、3月17日に行った。総務委員会を中心に妻籠観光協会、南木曾町教育委員会と協働し、11名が参加した。1月26日の文化財防火デーは、前半は事務所前で地元消防団員の指導による初期訓練を行い、続いて愛会ホールにおいて木曾消防署南分署長による防災についての講話を行った。当日は33名の参加があった。

③ 全国町並みゼミへの参加

今年度の町並みゼミは10月31日から11月2日まで台湾で開催され、正副理事長と町から2名が参加した。10か国から300名の参加があった。正副理事長は前日の29・30日、大溪の人々と地域文化観光をテーマに交流を行った。

④ 千曲市稲荷山で開催された「信州歴史的まちなみフォーラム 2025in 稲荷山」に正副理事長が参加した。

⑤ 7月に京都市で開催された伝統的建造物群保存地区制度創設50周年記念シンポジウムにおいて、理事長が妻籠宿保存の50年について発表した。

(2) 建築物の保存及び景観を守るために必要な維持管理・環境保全事業

① 「一石栃立場茶屋」建物の維持管理、及び近辺の草刈等を行った。無料休憩所として通年開放して管理人を置き、馬籠峠を歩く旅人を接待した。年間7万9千余人が茶屋前を通行した。また、アンケート調査を行い、要望等を集計した。これをもとに次年度以降の観光客へ配慮したより快適な観光地づくりをめざしたい。一石栃立場茶屋の水源調査及び清掃を定期的に行い、安定した水の供給に努めた。囲炉裏で焚く薪の調達と薪割作業を定期的に行った。

② 「一石栃白木改番所」近辺の草刈、除草剤の散布及び子安観音への経路の草刈を行い、自然環境と景観整備のために植栽したイロハモミジの追加肥料等景観維持に努めた。

③ 「愛会尾又屋」を田立和紙紙漉き工房として活用している。

④ 「木犀庵」を風俗絵巻之行列の衣装管理のため定期的を使用している。行列当日は、「まつや」とともに着替え場所等に活用した。「まつや」については、定期的に利用希望者が使用している。また双方の周辺の草刈等を定期的に行い維持管理に努めた。

⑤ 「旧田原家」は妻籠宿案内人の会の勉強会、下町のサロン、老人クラブ等有効に活用することができた。

⑥ 所有する建物の維持管理と保存事業の継続と海外の観光客への公開目的のため、尾又の旧田口家を旅行会社の妻籠営業所として貸し出しを継続している。

⑦ 空き家対策特別委員会を今年度は3回開催し、空き家の利活用、管理委託契約等について検討した。来年度以降も継続して活用について検討する予定である。

⑧ 関西電力より鉄塔を現在よりも2倍超の高さに建替えるとの申し入れがあり、理事会及び評議員会で審議した結果、景観保護の観点から「関電鉄塔対策特別委員会」を立ち上げることを決議した。

(3) 文化財の公開に必要な諸施設の設置と、その維持管理に関する事業

① 妻籠城址の草刈、清掃作業、登山道の整備等維持管理に努めた。また、宿場内の水車小屋周辺、口留番所等の立木の枝払い等の作業を行い景観の維持管理に努めた。

② ホームページにて、活動報告、広報「妻籠宿」等情報発信に努めた。

③ 平成24年度元気づくり支援金事業において整備した古い農機具を、昨年度までにさらに充実し、一石栃立場茶屋でハイカーに「縄綱い」と「薪割」体験を継続して行うこ

とができた。

（４）文化の向上を図るための調査・普及に関する事業

- ① 広報「妻籠宿」を４回発行し、妻籠地区全区民に配布するとともに、関係機関・友好団体、空き家持ち主、希望者へ幅広く送付した。
- ② 保存開始より継続して開催してきた「文化文政風俗絵巻之行列」は、第５８回を数え晴天の下、例年通り外部参加者も一緒に開催することができた。実行委員も含め１４７名が参加した。
- ③ 第４８回「妻籠冬期大学講座」を２月７日に妻籠町並み交流センターで開催した。今回は、「重伝建の過去・現在そして未来―持続可能なまちづくりに向けて」と題し、長野県立大学教授田村秀氏を講師に迎え、４２名の聴講があった。
- ④ 「妻籠宿案内人の会」の事務局及び学習会の支援等を行った。
- ⑤ 衣装管理部員を中心に、行列衣装の整理虫干し等を定期的に行うとともに、行列用衣装貸出準備と共に自主的な着付け練習を企画、行列当日は衣装部員を中心に早朝より出演者への着付を行った。
- ⑥ 本年度で２０回目となる狼煙あげを広く木曽郡内にも呼び掛け、快晴のもと、南木曽町６か所を始め、北は塩尻市東地区から南は馬籠峠までの全１７か所２３９名の参加があった。今後は木曽谷全体の狼煙リレーが課題項目となっている。

（５）文化財と一体をなす自然環境の保護に関する事業

- ① 財団所有の尾又地区景観保護地にあるミツバツツジ・イロハモミジの追肥料、下草刈等の手入れを行い保護管理に努めた。
- ② 妻籠城址の登山道の環境整備に努めた。
- ③ 特定外来生物のオオキンケイギク・アレチウリ・オオハンゴンソウ・セイタカアワダチソウ等の除去作業を環境保全委員会が中心となり観光協会の若者及び愛友会の協力を得て行い、妻籠地区の環境整備に努めた。

（６）重要伝統的建造物群保存地区内において公開に必要とする事業の受託

- ① 町営駐車場の管理受託事業を継続し、公益事業に資することができた。また、利用者へのサービス向上を図ると共に、周辺の環境整備に心掛け、草刈・花植え等積極的に美化に努めた。
- ② 旧妻籠中学校の管理受託を行い、校舎内及び周辺の清掃と環境整備に努めた。
- ③ 文化財としての景観維持に努め、メディアによる撮影についてはその質を向上するため、撮影許可審議委員会を１５回開催し、事前にチェックし、アドバイスをを行った。審議件数は２３件だった。

（７）関係機関、連携団体との集落保存、自然景観の保護、地域づくりに関する事業

- ① 木曽風景街道推進協議会総会が本年度は妻籠宿で開催され、妻籠からは６名参加した。令和３年度より藤原理事長が会長を務める。木曽風景街道推進協議会主催の中山道研修会に８名参加し、芦田宿を見学した。８月に木曽町三岳で開催された「外来植物駆除作業及び講習会」に理事長が参加した。また、２月に大桑村で行われたてんぐ巣病駆除作業に正副理事長が参加した。令和７年度地域づくりネットワーク木曽支部活動見学会が１２月７日木曽町開田高原で行われ、理事長が参加した。南木曽町観光振興計画策定委員会に常務理事が参加し、副委員長を務めた。藤原理事長が常務理事を務める（公社）

日本ナショナル・トラスト協会の理事会及び総会に出席し、12月の全国大会では妻籠の近況報告を行った。

② その他の関係団体との交流

〈藤原義則理事長対応〉

- | | |
|----------------------|--------------------|
| ・(公社) 日本ナショナル・トラスト協会 | ・NPO 法人全国町並み保存連盟 |
| ・地域づくりネットワーク長野県協議会 | ・信州豊かな環境づくり県民会議 |
| ・木曽観光地域づくり戦略プロジェクト会議 | ・木曽谷狼煙あげ連絡会 |
| ・長野県インバウンド推進協議会 | ・信州歴史的まちなみネットワーク |
| ・日本遺産「木曽路」事業検証・検討委員会 | ・南木曽町リニア中央新幹線対策協議会 |

〈横山純常務理事対応〉

- | | |
|------------------|--------------------|
| ・妻籠宿保存地区審議会 | ・妻籠観光協会 |
| ・木曽路氷雪の灯祭り実行委員会 | ・南木曽町リニア中央新幹線対策協議会 |
| ・南木曽町観光振興計画策定委員会 | |

(8) 前号までに掲げるもののほか、前号までの目的を達成するために必要な事業

- ① 中央駐車場の経営・管理事業を継続し、マスク着用と手指消毒は継続しながら駐車場利用者へのサービス向上に努め、公益事業に資することができた。また、周辺環境整備に心掛け、草刈・花植え等積極的に美化に努めた。
- ② 「第43回南木曽町・妻籠健康マラソン」開催に協力し、大会の成功に寄与した。
- ③ テレビ撮影・書物での紹介等妻籠宿に適合した企画に対し協力と適切な指導を行った。
- ④ 第52回新春放談会を1月4日に開催し、教育長以下15名の参加があった。
- ⑤ 南木曽町リニア中央新幹線対策協議会に理事長と常務理事が参加した。
- ⑥ 名古屋学院大学、文化学園高校の来宿に対し理事長が案内・講話を行った。また、大学生の卒論作成に関する援助も積極的に行った。
- ⑦ 地元旅行会社のボランティア活動を積極的に受け入れ、支援した。